

第一回大西地方協議会の報告

1. 1. 関西地方協議會ニ關スル件

(九州統一同盟本部提呈)

・労働者戦線の統一が如何に当面重要であるかは最早論する迄もない。今日日本の労働者が当面してゐるものは兎もなる日本支配階級の暴圧である。大小労働組合の対立併立がある依つて来る処は日本労働運動の萎微波瀾がある。此の沈滞を克服し嵐の如き逆襲を組織するためには労働者戦線の統一結集以外にはない然し乍ら我々の統一方針は幹部と幹部の堅合に依つて決する日本労働俱樂部の如きものであつてはならない。

日本資本主義の心臓たる九州の労働運動の現情を見るに資本の猛襲に対して只萎微沈滞し大小労働組合の対立があるのみだ我等はこの沈滞を克服し下からの戦線統一をはかり名実共に労働者の斗争力を強力にし力を結集する処の司令部たる階級的労働組合の建設の爲め戦斗的各地方の労働団体を結集し現在の資本の攻勢に対して逆襲すべく関西地方協議會の結成に拍車をかくべく我が統一同盟より各地方団体に提示なし戦線

統一の斗争へ動員せねばならぬ。

我等陳営強化の爲め関西地方協議會の結成へ積極的に斗やけならぬ。斯くしてこそ我等の陳営は強化され資本主義打倒への前進を誓ふものである。